

令和6年度 継続中事業の進捗状況

再評価 年度	再評価対象事業 (各年度における事業再評価対象事業)					再評価対象外事業 (各年度における事業再評価対象外事業)				令和5年度取組状況					
	再評価 時点	うち A～C ※1	A～Cの 現状			再評価 時点	現状			対象事業 (1)+(2)	取組に対する自己評価結果 ※3				令和5年度 中に事業費・ 完了年度を 計画変更し た事業
			継続事業 自己評価 対象事業 (1)	完 了	計画変更 事業休止 等		継続事業 自己評価 対象事業 (2)	完 了	計画変更 事業休止 等		①(i)	①(ii)	②(i)	②(ii)	
令和2年度	4事業	3事業	2事業	—	※2 1事業	—	—	—	—	2事業	—	—	2事業	—	—
令和3年度	16事業	16事業	14事業	2事業	—	2事業	2事業	—	—	16事業	1事業	—	10事業	5事業	5事業
令和4年度	6事業	6事業	6事業	—	—	—	—	—	—	6事業	2事業	—	4事業	—	—
合計	26事業	25事業	22事業	2事業	1事業	2事業	2事業	—	—	24事業	3事業	—	16事業	5事業	5事業

※1【対応方針】

事業継続(A):完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B):予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C):限定的な実施にとどまるもの
 事業休止(D):複数年にわたって予算の執行を行わないもの
 事業中止(E):事業を中止するもの

※2【対象事業数】

令和4年度に再評価を実施したため、
 令和4年度の自己評価対象事業に加える。

※3【自己評価結果】

①(i):計画どおりに進捗している(事業費進捗率・事業内容)
 ①(ii):計画どおりに進捗している(事業内容は計画どおりに進捗していない)
 ②(i):計画どおりに進捗していない(事業内容は計画どおりに進捗している)
 ②(ii):計画どおりに進捗していない(事業費進捗率・事業内容)

事業再評価後の取組状況 - 令和2年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						5年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由		
					2年度 (事業再評 価時)	3年度	4年度	5年度	6年度				
R2 -01	街路事業 [建設局] 津守阿倍野線整備 事業	事業継続 (A)	防災機能の向上や道路ネットワークの 形成のためにも整備が必要な路線とし て、重点的に予算を確保し、用地交渉 が難航している物件については収用手 続きへの移行も視野に入れながら、用 地取得を進め、用地取得が終われば、 速やかに工事を実施し、令和5年度の 事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	67	令和5年度は、用地取得 に向け、用地交渉を行 い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗 することができていないが、道路整備に向けて関係機関 との調整を行っており、事業進捗が図れている。
						累計	58	62	63	63	66		
						進捗率	87%	93%	95%	95%	99%		
					完了年度	R5	R5	R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	67	67	67	67	67		
						累計	55	56	60	60	60		
						進捗率	82%	84%	90%	90%	90%		
					完了年度	R5	R7	R7	R7	R7			
R2 -02	街路事業 [建設局] 淀川北岸線（菅 原）整備事業	事業継続 (B)	予算の範囲内で着実に、残る用地取得 と道路整備を進め、令和12年度での事 業完了をめざす。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	令和5年度は、用地取得 に向け、用地交渉を行 い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗 することができていないが、引き続き用地交渉を行って おり、事業進捗が図れている。
						累計	43	45	48	51	65		
						進捗率	29%	31%	33%	35%	44%		
					完了年度	R12	R12	R12	R12	R12			
				実績	事業費	全体	147	147	147	147	147		
						累計	45	45	45	47	47		
						進捗率	31%	31%	31%	32%	32%		
					完了年度	R12	R12	R12	R12	R12			

事業再評価後の取組状況 - 令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位：億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						5年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由		
				3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度					
R3-01	街路事業 〔建設局〕 河堀口舍利寺線整備 事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保し、用地交渉が難航している物件については土地収用法の適用も視野に入れながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	令和5年度は、用地取得に向け用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉を行っており、事業進捗が図れている。	
						累計	47	49	52	55			
						進捗率	86%	90%	94%	100%			
				実績	完了年度	R6	R6	R6	R6				
						事業費	全体	55	55	55			
							累計	47	47	47			
							進捗率	86%	86%	86%			
						完了年度	R6	R6	R6				
R3-02	街路事業 〔建設局〕 鞍作線線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費	全体	27	27	27	27	令和5年度は、用地取得に向け用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉を行っており、事業進捗が図れている。	
						累計	22	23	23	25			27
						進捗率	83%	84%	86%	91%			100%
				実績	完了年度	R7	R7	R7	R7	R7			
						事業費	全体	27	27	27			
							累計	22	22	22			
							進捗率	83%	83%	83%			
						完了年度	R7	R7	R7				
R3-03	街路事業 〔建設局〕 尼崎堺線（西成南） 整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	136	136	136	136	令和5年度は、用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や関係機関協議、道路整備を行っており、事業進捗が図れている。	
						累計	73	77	85	90			98
						進捗率	54%	56%	63%	66%			72%
				実績	完了年度	R10	R10	R10	R10	R10			
						事業費	全体	136	136	136			
							累計	73	76	76			
							進捗率	54%	56%	56%			
						完了年度	R10	R10	R10				
R3-04	街路事業 〔建設局〕 十三吹田線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費	全体	68	68	68	68	令和5年度は、用地取得に向け用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や関係機関協議、道路整備を行っており、事業進捗が図れている。	
						累計	26	28	29	44			53
						進捗率	39%	41%	42%	65%			78%
				実績	完了年度	R10	R10	R10	R10	R10			
						事業費	全体	68	68	68			
							累計	27	27	28			
							進捗率	40%	40%	40%			
						完了年度	R10	R10	R10				

事業再評価後の取組状況 - 令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					5年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度			7年度		
R3-05	街路事業 〔建設局〕 天王寺大和川線整備 事業	事業継続 (B)	JR阪和線の高架化工事事業の完了後、既に広大な空間が広がっている状況から本事業への地域の関心は高まっており、依然として事業の必要性も高いことから、令和10年度の事業完了をめざして、引き続き地域等と調整を図りながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努める。	計画	事業費	全体	942	942	942	942	942	令和5年度は、用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や関係機関協議、道路整備を行っており、事業進捗が図れている。
						累計	862	890	906	921	934		
						進捗率	92%	95%	96%	98%	99%		
				実績	事業費	完了年度	R10	R10	R10	R10	R10		
						全体	942	942	942				
						累計	862	873	884				
進捗率	92%	93%	94%										
完了年度	R10	R10	R10										
R3-06	街路事業 〔建設局〕 長柄堺線整備事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得が終われば速やかに工事を実施していく。	計画	事業費	全体	10	10	10	10		令和5年度は、用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉や関係機関協議、道路整備を行っており、事業進捗が図れている。
						累計	6	9	9	10			
						進捗率	63%	92%	97%	100%			
				実績	事業費	完了年度	R6	R6	R6	R6			
						全体	10	10	10				
						累計	5	7	8				
進捗率	48%	77%	81%										
完了年度	R6	R6	R6										
R3-07	街路事業 〔建設局〕 木津川平野線整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	121	121	121	121	121	令和5年度は、用地取得及び道路設計等を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、事業費進捗率において計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉を行っており、事業進捗が図れている。
						累計	28	33	39	48	58		
						進捗率	23%	27%	32%	39%	48%		
				実績	事業費	完了年度	R10	R10	R10	R10	R10		
						全体	121	121	121				
						累計	31	34	37				
進捗率	25%	28%	31%										
完了年度	R10	R10	R10										
R3-08	水道設備整備事業 〔水道局〕 柴島浄水場下系施設 運転用自家発電設備 整備事業	事業継続 (A)	令和3・4年度に実施設計について、業務委託を実施する。その後の工事発注により、令和6年度に施設運転用自家発電施設の完成を目指す。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	実施設計業務委託の発注を行ったが、2度の入札不調となった。 ・令和5年4月6日開札 ・令和5年8月25日開札	〔自己評価結果〕 ②(ii) 〔理由〕 実施設計業務委託の入札不調により、全体スケジュールに遅延が生じている。 〔事業期間の変更をした理由〕 実施設計業務委託の入札不調により、全体スケジュールを見直す必要が生じたため、完了年度を変更した。今後は、より早期の事業遂行を目指し、入札方式を見直した上で、事業を進める予定である。
						累計	0	0.3	0.3	3	14		
						進捗率	0%	1%	1%	12%	56%		
				実績	事業費	完了年度	R6	R6	R8	R8	R8		
						全体	25	25	25				
						累計	0	0	0				
進捗率	0%	0%	0%										
完了年度	R6	R8	R9										

事業再評価後の取組状況 - 令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位：億円)

番号	事業種別 【事業所管局】 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						5年度 の取組内容	自己評価結果		
				3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度					
R3-09	道路事業 【建設局】 市道西成区第369号 線道路改良事業	事業継続 (B)	本路線は、歩行者等の安全対策ならびに自動車交通の円滑化、さらに防災機能向上のために整備が必要な路線として、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	道路整備に向け土質調査を実施。	【自己評価結果】 ②(i) 【理由】 詳細設計の成果より、盛土工法の検討のために土質調査が必要になった。そのため、工事発注が次年度へ先送りとなった。 事業費では計画を下回っているものの事業は計画通りに進捗しているため。
						累計	20	20	21	22	23		
						進捗率	85%	88%	92%	97%	100%		
				実績	事業費	完了年度	R7	R7	R7	R7	R7		
						全体	23	23	23				
						累計	19	19	19				
						進捗率	84%	84%	84%				
R3-10	うめきた2期区域基 盤整備事業 【建設局】 JR東海道線支線地下 化事業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」と、新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点の形成の実現に向け、都市基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区画整理事業）を着実に実施する。	計画	事業費	全体	549	549	549			地下化切換後の現在線及び仮線撤去等を実施。	【自己評価結果】 ②(ii) 【理由】 仮線として使用していた架道橋の橋脚を撤去するにあたり、埋設物の移設等の対応や橋脚の撤去方法の詳細検討及びそれに伴う工事実施に時間を要したため。 【事業期間の変更をした理由】 埋設物の移設等の対応や橋脚の撤去方法の詳細検討及びそれに伴う工事実施に時間を要したため、令和5年度から令和6年度に完了年度を変更した。 今後も事業完了に向け鋭意、工事実施予定である。
						累計	445	514	549				
						進捗率	81%	94%	100%				
				実績	事業費	完了年度	R5	R5	R5				
						全体	549	549	549				
						累計	445	516	545				
						進捗率	81%	94%	99%				
R3-11	うめきた2期区域基 盤整備事業 【都市整備局】 大阪駅北大深西地区 土地区画整理事業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」と、新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点の形成の実現に向け、都市基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区画整理事業）を着実に実施する。	計画	事業費	全体	446	446	455	455	455	道路整備・埋設物移設工事等うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。	【自己評価結果】 ②(i) 【理由】 関連事業の調整による工事計画等の変更を行い、大規模工事の実施時期を後年度に見直したため事業進捗率は計画未達となったが、令和8年度の事業完了に向けて着実に事業進捗を図る。
						累計	178	247	317	382	413		
						進捗率	40%	55%	70%	84%	91%		
				実績	事業費	完了年度	R8	R8	R8	R8	R8		
						全体	446	455	455				
						累計	159	241	272				
						進捗率	36%	53%	60%				
R3-12	住宅地区改良事業 【都市整備局】 長橋住宅地区改良事業	事業継続 (B)	地権者の理解・協力を得られたことを契機として、なお加速的にこの事業を進めることが求められる。そのため、令和7年度の事業収束をめざして、権利者に対し、引き続き事業の必要性の説明と協力要請を丁寧に行うとともに、国との協議をふまえた区画整理事業の換地手法等の活用など新たな方策の導入も視野に入れながら用地取得を進め、必要な施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	90	90	90	90	90	平成30年度に事業協力を得られた未買収用地の大部分を占める大地主と用地買収の交渉を進め、2件の住宅除去及び用地取得を行った。	【自己評価結果】 ②(ii) 【理由】 懸案であった大地主用地の買収を令和元年度から開始しており、事業が大きく進捗したが、平成30年度までに権利者との調整及び交渉に要した時間を覆すことができなかったため。 今後の建物除却及び用地取得について、概ね大地主と合意に至っており、事業計画どりの事業完了に向けて事業を実施する。
						累計	68	71	83	89	90		
						進捗率	76%	79%	92%	99%	100%		
				実績	事業費	完了年度	R7	R7	R7	R7	R7		
						全体	90	90	90				
						累計	67	69	69				
						進捗率	74%	77%	77%				

事業再評価後の取組状況 - 令和3年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位：億円)

番号	事業種別 【事業所管局】 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応方針	今後の取組方針	取組状況					5年度 の取組内容	自己評価結果			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度			7年度		
R3-13	港湾公害防止対策事業 【大阪港湾局】 大阪港内公害防止対策事業	事業継続 (B)	これまで堤防の耐震対策箇所を優先してきたが、今後は濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効果的な対策を実施しながら令和11年度の完了をめざす。 また、公害財特法の失効に伴い、財源確保が厳しくなることから、国や他の自治体等とも調整しながら、財源確保にむけた取り組みを進める。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	高濃度ダイオキシン類の底質除去を実施。 南海トラフ巨大地震に対する海岸堤防の耐震化と合わせて実施。	【自己評価結果】 ②(i) 【理由】 要求額に対して国の内示額が下回ったため、事業費では計画を下回るが事業は計画通りに進捗している。
						累計	26	33	40	45	50		
						進捗率	18%	22%	27%	31%	34%		
				実績	事業費	完了年度	R11	R11	R11	R11	R11		
						全体	147	147	147				
						累計	26	30	36				
R3-14	港湾整備事業 【大阪港湾局】 臨港鉄道整備事業 (北港テクノポート線)	南ルート 事業継続 (A) 北ルート 事業休止 (D)	夢洲における国際観光拠点と国際物流拠点としての十分な機能を発揮するため、人流と物流を分離し、幹線道路網の交通負荷を軽減し、港湾物流の円滑化を図る必要があり、その手段として本路線の整備を進める。 平成30年11月、夢洲における大阪・関西万博の開催が決定し、会場となる夢洲地区への主要な輸送手段として本路線（南ルート）が位置づけられていることから、夢洲への来場者輸送に対応するため、令和6年度（2024年度）までに（仮称）夢洲駅の開業を目指し整備を進める。 北ルートの整備については、夢洲Ⅰ期開発以降の夢洲Ⅱ期・Ⅲ期開発における段階的な土地利用の状況に応じて、鉄道の事業主体や運営主体などの整備方針が決まった段階で、改めて大阪市建設事業評価有識者会議に諮る。	計画	事業費	全体 (南ルート分)	1236 (790)	1236 (790)	1236 (790)	1236 (790)	1236 (790)	駅舎部本体工事及び線路部シールド工事を実施	【自己評価結果】 ①(i) 【事業費を変更した理由】 全体事業費の精査を行った結果、事業費の削減が可能となったため全体事業費を減額した。また、工事が順調に進み計画よりも出来高が上がり、国の補正予算を確保することができたため、事業費実績が計画を上回った。
						累計 (南ルート分)	534 (534)	658 (658)	747 (747)	789 (789)	789 (789)		
						進捗率 (南ルート分)	43% (68%)	53% (83%)	60% (95%)	64% (99%)	64% (99%)		
				実績	事業費	完了年度	R9	R9	R9	R9	R9		
						全体 (南ルート分)	1236 (790)	1236 (790)	1224 (778)				
						累計 (南ルート分)	534 (534)	637 (637)	762 (762)				
R3-15	橋梁事業 【建設局】 主要地方道大阪狭山線（下高野橋）橋梁架替事業			計画	事業費	全体	29	29	29			下高野橋の架替に伴う、主要地方道大阪狭山線の線形変更に必要な用地取得にかかる権利者との調整及び交渉	【自己評価結果】 ②(ii) 【理由】 用地取得にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。 【事業期間の変更をした理由】 用地取得にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため、令和5年度から令和8年度に完了年度を変更した。今後も難航している権利者交渉を継続し、用地取得及び道路整備を進めていく予定である。
						累計	29	29	29				
						進捗率	98%	98%	100%				
				実績	事業費	完了年度	R5	R5	R5				
						全体	29	29	29				
						累計	29	29	29				
R3-16	道路事業 【建設局】 主要地方道住吉八尾線道路改良事業			計画	事業費	全体	14	14	14	14		道路予定地の取得及び道路整備に向け関係先との調整を進めた。	【自己評価結果】 ②(ii) 【理由】 用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。 【事業期間の変更をした理由】 用地買収等にかかる権利者交渉に想定以上の時間を要しているため、令和6年度から令和7年度に完了年度を変更した。今後も難航している権利者交渉を継続し、用地買収及び道路整備を進めて行く予定である。
						累計	13	13	14	14			
						進捗率	95%	96%	97%	100%			
				実績	事業費	完了年度	R4	R4	R6	R6			
						全体	14	14	14				
						累計	13	13	13				
				実績	事業費	進捗率	93%	93%	93%				
						完了年度	R4	R6	R7				
						全体	14	14	14				

事業再評価後の取組状況 - 令和4年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号		事業種別 【事業所管局】 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点												
			対応 方針	今後の取組方針	取組状況						5年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由					
						4年度 (事業再評価時)	5年度	6年度	7年度	8年度							
R4-01	連続立体交差事業 【建設局】 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業	事業継続 (A)	本事業については、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消、都市防災性の向上が図られることから、事業を継続することとし、引続き事業費確保の取組により令和13年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	2,326	2,326	2,326	2,326	高架化工事を実施	[自己評価結果] ②(i) [理由] 一部区間で地中障害物があることが判明し、対策検討に時間を要したが、その他区間では鋭意工事を進めており、事業進捗が図れている。					
						累計	1,342	1,671	1,781	1,891			1,996				
						進捗率	58%	72%	77%	81%			86%				
				実績	事業費	全体	2,326	2,326									
						累計	1,342	1,596									
						進捗率	58%	69%									
完了年度	R13	R13	R13	R13	R13												
R4-02	港湾整備事業 【大阪港湾局】 咲洲東土地造成事業	事業継続 (B)	【埠頭用地】 国直轄事業を核とする国際物流ターミナル整備事業の令和13年度の完成にあわせ、着実に実施していく。 【流通施設用地】 背後に一大消費圏を抱える大阪港において、輸送効率化に寄与する大型物流施設の立地需要に対応するとともに、今後不足する恐れのある公共残土の処分場確保の観点から、令和19年度の完成をめざし、着実に実施していく。	計画【埠頭用地】	事業費	全体	48	48	48	48	48	【埠頭用地】 ・環境影響評価を実施 ・護岸設計を実施	[自己評価結果] ①(i) [理由]				
						累計	7	7	9	11	15						
						進捗率	15%	15%	19%	23%	31%						
				完了年度	R13	R13	R13	R13	R13								
				実績【埠頭用地】	事業費	全体	48	48									
						累計	7	7									
						進捗率	15%	15%									
				完了年度	R13	R13											
				計画【流通施設用地】	事業費	全体	103	103	103	103	103	【流通施設用地】 ・環境影響評価を実施 ・護岸設計を実施					
						累計	5	6	8	11	18						
						進捗率	5%	6%	8%	11%	17%						
				完了年度	R19	R19	R19	R19	R19								
				実績【流通施設用地】	事業費	全体	103	103									
						累計	5	5									
						進捗率	5%	5%									
				完了年度	R19	R19											
				R4-03	街路事業 【建設局】 豊里矢田線（生野） 整備事業	事業継続 (A)	本事業については、本市東部エリアにおける南北方向の道路ネットワークの形成と生野区南部地区における密集市街地の防災骨格を担う重要な路線として、当該区間の整備を進めていく必要性が高いことから、引続き事業費確保に努め、令和9年度までの事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	令和5年度は、用地取得に向け用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、引き続き用地交渉を行っており、事業進捗が図れている。
										累計	2	5	13	22	23		
進捗率	9%	22%	51%							87%	93%						
完了年度	R9	R9	R9					R9	R9								
実績	事業費	全体	25					25									
		累計	1					4									
		進捗率	5%	17%													
完了年度	R9	R9															

事業再評価後の取組状況 - 令和4年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						5年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由		
					4年度 (事業再評価時)	5年度	6年度	7年度	8年度				
R4-04	街路事業 〔建設局〕 福岡十三線立体交差 事業（阪神なんば 線）	事業継続 (A)	本事業については、国の直轄河川事業として実施されている阪神なんば線淀川橋梁改修事業の促進に加え、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消及び駅周辺地域の一体化が図られることから、引続き事業費確保に努め、令和13年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	61	61	61	61	61	阪線整備工事を実施	〔自己評価結果〕 ①(i) 〔理由〕
						累計	18	23	28	32	40		
						進捗率	29%	37%	45%	53%	65%		
				実績	事業費	完了年度	R13	R13	R13	R13	R13		
						全体	61	61					
						累計	15	22					
						進捗率	25%	35%					
R4-05	街路事業 〔建設局〕 淀川南岸線整備事業	事業継続 (A)	本事業は、東西方向の市内幹線道路ネットワークの形成と歩行者等の安全性の向上や防災性の向上、淀川左岸線へのアクセス向上が図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	138	138	138	138	138	淀川左岸線（2期）事業に伴う阪急交差部工事等を実施	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 事業費進捗率は計画未達となっているが、事業計画上の実施すべき工事等は遅延なく実施できており、事業進捗が図れている。
						累計	51	67	73	81	83		
						進捗率	37%	49%	53%	59%	60%		
				実績	事業費	完了年度	R13	R13	R13	R13	R13		
						全体	138	138					
						累計	48	61					
						進捗率	35%	44%					
R4-06	街路事業 〔建設局〕 淀川左岸線（2期） 事業	事業継続 (A)	本事業については、「大阪都市再生環状道路」として整備することで、産業・観光・物流の発展や都心部の渋滞緩和、市街地環境の改善、災害時のリダンダンシーの確保などが図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。また、万博開催時には、駅シャトルバスのアクセスルートとして利用することにより、会場へのアクセス時間の短縮や定時性の向上、複数ルートの確保による渋滞緩和などに寄与することから、万博時において暫定的に利用可能となるよう重点的に実施する。	計画	事業費	全体	6,109	6,109	6,109	6,109	6,109	トンネル本体工事等を実施	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 事業費進捗率は計画未達となっているが、事業計画上の実施すべき工事等は遅延なく実施できており、事業進捗が図れている。
						累計	4,084	4,381	4,752	4,864	5,118		
						進捗率	67%	72%	78%	80%	84%		
				実績	事業費	完了年度	R14	R14	R14	R14	R14		
						全体	6,109	6,109					
						累計	3,971	4,229					
						進捗率	65%	69%					